

おはようございます。10 月 31 日ですね。一番に思い浮かぶのは「ハロウィン」だと思います。ただ、一昨晚の韓国ソウルでの事故については、痛ましい気持ちになりました。

さて、10 月の行事を振り返ると皆さんに、お話したいことがたくさんあります。

文化発表会のことや、授業や部活動での頑張りなど…キリがありませんので一つのことをお話しします。

最近、よく「人生 100 年時代」という言葉を耳にしますね。これは、老後の生活をどう過ごすのかというときに使われる言葉ですが、若い皆さんのことを考えると 100 歳のころは西暦 2100 年を超えていることになり、皆さんは 22 世紀で生活していることになります。それまでには、あと 70 年以上ありますのでまだまだ先のことですが、その間の過ごし方については「運命」という言葉で済ませないでほしいと思います。

昨日、日本一になったプロ野球チームのオリックスも優勝することは「運命」ではなく努力だったと思いますし、みなさんがこれまでにお店でくじを引いた時の当たりはずれは「運」かもしれませんが「運命」ではないということです。くじを引かないという選択もあるし、やはり自分自身の行動や努力があるから「運命」が左右します。

イギリスで初の女性首相になったマーガレット・サッチャーさんの「考えは言葉となり 言葉は行動となり 行動は習慣となり 習慣は人格となり 人格は運命となる」という言葉は有名ですが、運命を決定するためには、まず自分自身が目標をしっかりと考え、それをどのように実践していくか、それを続けて運命が変わるということが込められていると思います。

イギリスの話をしたのは、先生自身が西暦 2000 年を迎える年始をロンドンで迎えたことを思い出したこともあります。ウェストミンスター宮殿のビッグベンの横でたくさんの花火を見上げながら、たくさんのイギリスの人たちが「蛍の光」を英語で合唱していた風景は、その時そこにいたから味わえる雰囲気でもありました。

私は、おそらく 22 世紀を迎えることはできませんが、皆さんは無限の可能性を持っている若者です。目標をしっかりと見据えて、継続できる行動を続けることで運命を変えてほしいと思います。そして、この先がどんな世の中になっているかわかりませんが、22 世紀をしっかりと見てきてほしいと思います。

以上